

事例項目	01 障害の特性理解・実態把握 04「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」05 学校体制づくりのサポート
概要	「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成に関する相談
事例提供校	高校： 東部地区 全日制 特支： 東部特別支援学校

事例の内容	高校からのリクエスト ・指導の充実を図るために「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成するとよいと聞きますが、そもそも二つはどのようなものでどう作成し、どう活用すればよいのですか。
	特別支援学校からの支援・助言（センター的機能の活用） (1) 個別の教育支援計画 生活全般にわたるナビについて 障害のある生徒一人一人の教育的ニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下に、福祉、医療、労働等の関係機関との連携を図りつつ、乳幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立って、一貫して的確な教育的支援を行うために、障害のある幼児児童生徒一人一人について作成した支援計画です。
	(2) 個別の指導計画 学校生活のナビ 生徒一人一人の障害の状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう、学校における教育課程や指導計画、当該幼児児童生徒の「個別の教育支援計画」等を踏まえて、より具体的に幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法等を盛り込んだ指導計画です。 1番のメリットは、チーム支援が成立することです。どの教員も同じように支援してくれると生徒が安心感を持ちます。引継ぎの資料となり、一貫性ある支援を行うことができます。

センター的機能を活用した感想	高校 担当者のコメント ・効果があるのはわかりますが、もう少し簡単にできるのであれば、他の教員に協力を得られそうに思います。
	特別支援学校 担当者のコメント PDCA サイクルの支援が効果的ですが、特に「Action がだいじ」で考え、作成にばかり時間を費やすことがないようにしたいです。作成と活用はセットです。気づきから支援・作成は、最短で行えるようにしたいです。用紙等がいろいろインターネット等で公開されています。全部記入するのではなく、できそうなプラン、アクションの数を増やし、有効な指導をたくさん成立させるとよいと考えます。

まとめ 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」は、効果的に支援するためのツールの一つです。このツールを作成・活用すると、チーム支援がより機能し、障害のある生徒の困難さの減少につながります。長期的な計画である「個別の教育支援計画」を立ててから、学年・学期ごとの計画である「個別の指導計画」を立てるのが原則ですが、実態によっては「個別の指導計画」を先に立てることもあります。
--

※具体的な支援内容については、当該校にお問い合わせください。